

別紙9

【薬効分類】 117 精神神経用剤

【医薬品名】 ブロナンセリン（貼付剤）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤、ロナファルニブを投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤、ロナファルニブ、 <u>セリチニブ</u> を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
CYP3A4を強く阻害する薬剤 イトラコナゾール ボリコナゾール ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤） フルコナゾール	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を阻害するため、クリアランスが減少する可能性がある	CYP3A4を強く阻害する薬剤 イトラコナゾール ボリコナゾール ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤） フルコナゾール	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を阻害するため、クリアランスが減少する可能性がある

ホスフルコナゾール ポサコナゾール リトナビルを含む製剤 ダルナビル アタザナビル ホスアンプレナビル エンシトレルビル コビシスタットを含む製剤 ロナファルニブ		る。	ホスフルコナゾール ポサコナゾール リトナビルを含む製剤 ダルナビル アタザナビル ホスアンプレナビル エンシトレルビル コビシスタットを含む製剤 ロナファルニブ <u>セリチニブ</u>		る。
---	--	----	---	--	----